

令和7年度 社会福祉法人しいの木会 事業計画

1. 法人全体事業計画

- (1) 「しいの木会中長期計画」の具体化を図る。
- (2) 利用者利用率の向上と新規利用者の獲得の広報・営業活動を行う。
- (3) 法令順守
 - ① 令和7年度義務化、グループホーム「地域連携推進会議」を実施する。
 - ② 社会福祉法人が担う社会貢献活動を検討する。
- (4) ICT導入を検討し、記録等業務の効率化を目指す。
- (5) 設備更新
 - ・ エアコン（エコワーク室・相談室・多目的室）
 - ・ 電灯のLED化等
- (6) 日本知的障害者福祉協会への加入を検討する。
- (7) 走行距離の多い送迎車の更新（ハイエース10人乗り発注済）
- (8) 役員会等は年間計画に従って実施する。併せて法人の事業に対して適切なガバナンスを発揮する。
- (9) 役員会予定

実施日	種別	参加者	決議事項
6月上旬	理事会	理事・監事 会計責任者	・ 評議員会提出議題（案）の承認 ・ 理事・監事・評議員候補者の承認 ・ 評議員選任解任委員の承認
	評議員選任 解任委員会	評議員選任 解任委員 理事	・ 評議員の選任
6月中旬	評議員会	評議員・役員 会計責任者	・ 令和6年度事業報告および決算の承認 ・ 令和7年度事業計画および予算の承認 ・ 理事・監事の承認
	理事会	理事・監事	・ 理事長の選任
11月下旬	理事会 評議員会	理事・監事 評議員 会計責任者	・ 補正予算の承認
3月下旬	理事会 評議員会	理事・監事 評議員 会計責任者	・ 補正予算の承認 ・ 令和8年度事業計画および予算の承認

2. シーモック事業計画

利用者人数に合わせ、職員を適正に配置し利用者支援を行うことで活動中の事故防止に努める。菓子製造については、製造機械を使った効率的な菓子製造をめざし平均工賃1万円以上を維持する。菓子販売は、学校行事、注文販売やインターネット注文等、年間をとおして安定的な販売ができる体制を目指す。その他の活動については、利用者個々の状況に合った活動を提供できるよう、新しい作業種や活動を模索していく。

特別支援学校からの見学や実習生の受け入れを行うことで新規通所利用者増を目指す。(今年度から実習は日中一時支援事業を利用し実施する)

(1) シーモック各部署の計画

① 就労継続B型(定員30名)

ア) スイーツワーク(菓子製造)

利用者・職員の適材配置を行い、効率的な製造方法を模索していく。

イ) ピースワーク

受注作業・製作活動(自主製品)を行う。また、屋外での活動も取り入れながら、健康面を考慮した活動を行っていく。

ウ) ベジワーク

近隣の畑での野菜栽培を行っていく。受注作業・製作活動(自主製品)と供に歩行活動など、健康面を考慮した活動を取り入れていく。

② 生活介護(定員7名)

エコワーク

利用者個々のペースに合わせ、リサイクル活動や創作活動、歩行活動・体操などの健康面を考慮した活動を行う。リサイクル活動で得た業者買い上げ金、市の助成金を基に月に1回お楽しみ会を行う。

(2) 相談支援事業

サービス等利用計画書の作成、モニタリング(利用者状況の把握・計画の見直し)を行う。一人一人のニーズに対し適切なサービスが受けられるよう、情報提供を行う。

(3) 日中一時支援事業

利用者の地域生活を幅広く支援する観点から、月に2回、土曜日に余暇活動を行う。(年間計画書により24回実施予定)

また、日常的な活動と並行して緊急利用の受け入れを行う。

3. グループホーム事業計画

(1) 共同生活援助

シーモック職員がグループホーム支援に関われる機会を増やすことにより、支援の安定化を図る。利用者が地域において主体的に生活できるよう支援していく。QOLの向上を目指すとともに、利用者、家族との面談やニーズに柔軟に対応していく。地域の相談支援機関等と連携を図り、入居利用率を上げ収益の増加に努める。

(2) 短期入所

利用者家族の緊急時の対応や体験的利用等、福祉の充実を図っていく。